2016 年 2017 年と，伊豆稲取～伊豆大島の地域で開催された Real Quest. 今回は開催エリアを，富士山を擁する静岡県側に広げ，シーカヤック，パックラフト，マウンテンバイクを使った日本初の本格的 3 日間ノンストップアドベンチャーレースで，山，川，海の大自然を遊び尽くす 3 日間となります！

開催日

2019 年 5 月 17 日（金）- 5 月 19 日（日）

集合場所

静岡県静岡市　三保真崎海水浴場

車利用：東名高速道路清水 IC から約 12.3 km（約 25 分）
公共交通機関利用：JR 清水駅からしずてつジャストライン・三保山の手線（清水駅前－三保水族館）（約 28 分＋下車後徒歩約 8 分）

開催エリアとその魅力

開催エリアは，静岡県静岡市、富士市、沼津市、西伊豆町、松崎町を中心としたエリアです。

Head Quarter（HQ）となる三保は，砂嘴と呼ばれる一種の半島で，羽衣の伝説がある白砂青松の景勝地です．ここから仰ぐ富士は，日本新三景の一つとして知られています．　お天気がよいと，富士山がくっきりと姿を現します．

HQ 近くの海岸には，名勝として知られる「三保松原」が広がります．三保半島の海岸線に沿って 7 km にわたり 5 万 4 千本のクロマツが茂る松原は，2013 年に世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の構成遺産のひとつに登録されました．ユネスコに提出した世界文化遺産推薦書によると，構成資産は羽衣公園付近から真崎までの清水海岸（砂浜および松林），御穂神社境内全域と「神の道」，清水灯台（三保灯台）などで構成され、資産面積：64.4 ha，緩衝地帯面積：252.0 ha が指定されています．

浜には，薄い石英脈や方解石脈が入った丸石が落ちています．白い帯のかかったかわいらしい石は「はちまき石」と呼ばれていて，見つけると願いごとがかなう！といわれています．レースの願掛けに，はたまた願い事のために，探してみてはいかがでしょうか？

清水に来て，忘れてはいけないのが，グルメです．

清水駅を下りるとすぐに見えるのが，毎朝セリが行われる清水魚市場と，そのすぐそば、「いちば館」と「まぐろ館」からなる施設「河岸の市」です．清水港は，国内で消費されるマグロの半数が水揚げされる港で，上質さや鮮度はもちろん，頭肉やホホ肉などの希少部位もお手頃なお値段で出回ります.「清水魚市場 河岸の市」で，マグロをはじめ，鮮度抜群の海鮮グルメが楽しみましょう！

https://openwifi.jp/shizuoka/article/7
http://shizuoka.mytabi.net/shizuoka/archives/kashinoichi.php

HQ から国道 150 号沿いに車で南西に 20 分ほど進んでいくと，観光いちご狩り発祥の地である「いちご海岸ストリート」があります．いちご狩りのシーズンになると静岡県内はもちろん，東京，神奈川，愛知などからも観光客が訪れ，渋滞が発生してしまうほどの人気を誇ります.

https://gurutabi.gnavi.co.jp/a/a_2432/

HQ の北東には，国内では駿河湾でしか水揚げされない貴重な「桜えび」の最大の水揚げを誇る由比港です．桜えび料理はいろいろありますが，鉄板の人気メニューは「かき揚げ」でしょう.
おいしい桜えびを使った料理がいただけるお店が，あちこちにあるので，ぜひ，立ち寄ってみてください.

https://www.travel.co.jp/guide/article/22224/

霊峰富士がそびえたつ静岡県は，富士山でろ過された，美しい水の恵みがつくり出す神聖な景色を，至るところで見ることができます. 沼津駅から車を 10 分ほど走らせた場所にある柿田川湧水群は，富士山の伏流水が一日 110 万トンも湧く日本名水百選の一つとして有名で，不純物が取り除かれた美しい水が混沌と湧き出ています．整備された散策路や，展望台からそんな景色もすばらしく，敷地内には，縁結びの神社や，芝生の公園もあるようです．デートや家族とのお出かけにもおすすめだそうですよ.

https://tripnote.jp/shizuoka/kakitagawa-park-osusume

じつはこの静岡の湧き水，三島市の名物「うなぎ」と深いつながりがあるのをご存じでしょうか？

なぜ三島がうなぎで有名なのかというと，静岡県自慢の富士山の湧き水で，数日間生きたうなぎを泳がせるから．このひと手間で，うなぎの生臭さや泥臭さが消え，日本一美味しいと言われるうなぎが誕生するんだそうです.

ウナギは冬眠に備えて身に脂肪を蓄える晩秋から初冬が旬だといわれているようなので，次の冬にも，寒の土用に三島のウナギを PR する「うなぎまつり」に是非あしをのばしてみたいですね.

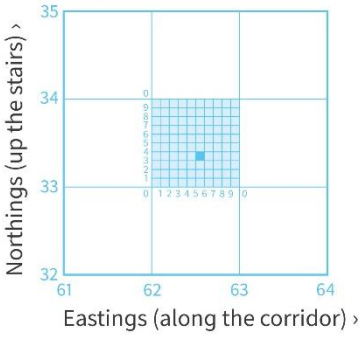
https://retty.me/area/PRE22/ARE326/SUB7701/LCAT2/CAT70/
https://icotto.jp/presses/2860

競技種目

≪エリートクラス・120-150 km≫
ナビゲーション，シーカヤック，トレッキング，マウンテンバイク，パックラフティング，コースタリング，シュノーケリング

≪チャレンジクラス・60-90 km≫
ナビゲーション，トレッキング，マウンテンバイク，パックラフティング，コースタリング，シュノーケリング

＊地図読みには**グリッドリファレンスの知識が必須**です．事前に勉強してきてください．
＊＊ロジスティックプランナーは，大会開催の週に公表予定です．（右下の図はイメージです）



スケジュール

	エリートクラス・120-150 km	チャレンジクラス・60-90 km
5 月 17 日（金）		
8:00～	集合，受付，装備チェック	
10:00	ブリーフィング	
11:00	スタートに向け移動	
13:00	スタート	
5 月 18 日（土）		
8:00		集合，受付，装備チェック
10:00		ブリーフィング
11:00		スタート
5 月 19 日（日）		
13:00	最終チームゴール	最終チームゴール
14:00	表彰式	表彰式
15:00	解散	解散

＊集合当日のスケジュールは，5 月上旬発行のニュースレターに掲載予定です.

必携装備リスト

以下，必携装備となりますが，その他必要と思われる装備はチームで検討してお持ちください.
Adventure Racing World Series の Mandatory Equipment List も参考にしてください.
https://arworldseries.com/wp-content/uploads/2018/01/Mandatory-Equipment-List-ARWS.pdf

【全種目共通，トレッキング装備】
レインウェア上下，行動食，水 2 L 以上，ヘッドライト，スペア電池，ホイッスル，ファストエイド（チーム 1 つ），非常時用の携帯電話（チーム 1 つ），デジカメ（チーム 1 つ），PLB（エリートクラスのみチーム 1 つ），コンパス，GPS（主催者提供），地図（主催者提供），座標を示した CP 一覧表（主催者提供）

【マウンテンバイク装備】
マウンテンバイク，フロントライト，リアライト，スペアチューブ，リペアキット（チームに最低1つ），ヘルメット，グローブ

【シーカヤック装備】いずれも主催者で準備はしないので，参加者自ら手配ください．
タンデムシーカヤック2艇，ビルジポンプ（1艇に1つ），パドル，PFD，スローバック，360度視認可能な白色灯（1艇に1つ），ストロボライト（1艇に1つ），グロースティック（1艇に1つ，1人1つ）

【パックラフト装備】いずれも主催者では準備しないので，参加者自ら手配ください．
パックラフト，パドル，PFD，スローバック，360度視認可能な白色灯（1艇に1つ），ストロボライト（1艇に1つ），グロースティック（1艇に1つ，1人1つ）

＊パックラフトセクションで**自転車を載せてダウンリバーするセクションが入る予定**です．色んなことを想定して遊んでおいてください！

【シュノーケル装備】
シュノーケルフィン，マスクもしくはゴーグル

＊海中に設置された CP があり，そこに到達するための装備です．

基本的なルール

参加者はレース中，以下のルールに従ってください．

1. チームメンバーはレース中行動を共にして主催者より指示がない限り 100 m 以上離れてはいけない．
2. 全ての参加者は，スタート前のブリーフィングに出席する．
3. チームのメンバーの1人が，何らかの理由（怪我，疲労，脱水症状など）で，レースを続行できなくなった場合は失格とする．但し，残りのメンバーはレースを続行できるが，順位はつかない．
4. 全ての参加者は，レースに使用される装備に関して責任を持つ．持ち物で指定された以外の装備品も自己及びチームの判断で用意すること．また，主催者が用意する装備を破壊・紛失した場合はそれを保証する．
5. スタート時点で持っていたものをゴールまでに落とした場合は失格とする．
6. レース中にごみを見つけたら拾う．

7. レースに使用する地域の環境を保護する．植物や動物を乱したり，ゴミ類を残すことは禁止とする．
8. レース中に携帯電話を使用したら失格とする．
9. 主催者が指示しない限りトレッキング，マウンテンバイク以外の車や電車，バスなどを含む動力による移動手段を使用した場合は失格とする．
10. ラジオ，ローカルラジオ，GPS，動力装備，動物の携行は禁止とする．ただし，GPS ログを取るための GPS 機能付きウォッチは可能とするが，位置確認は不可とする．

規約

■自己責任の精神

山，川，海など自然のフィールドでは自己責任が基本的考え方です．安全管理体制は主催者で取りますが，自然の中で起こる怪我などの事故に対しては自己責任の精神でお願いします．

■緊急時対応

事故などの場合に備えて，掛け捨てレジャー保険に加入します．レース当日のブリーフィングでイベント中の緊急連絡先をお知らせし，事故や病気が起きた場合は，スタッフは最善の努力をいたします．その保障は，掛け捨てレジャー保険のカバーする範囲とさせていただきますので，必ず各自で保険に加入して下さい．

■中止の場合

荒天の予報や道路事情により，イベントを中止する場合があります．中止の場合は，スタート 6 時間前までに公式 Facebook ページに掲載します．なお，エントリー費は返金いたしません．

■プライバシー保護，肖像権など

皆様の個人情報は，参加者への連絡，保険登録，参加や通過チェックおよび緊急時の対応，株式会社 Real Discovery Outdoors のイベント案内送付のために使用いたします．メール等でのイベント案内を希望されない方は，お申し出ください．

また走歩行の様子や記念写真等をカメラなどで撮影し，株式会社 Real Discovery Outdoors の公式 Website や公式 Facebook ページなどに使用させて頂く場合があります．

Q&A

Q1：現地までの交通費はエントリーに含まれていますか？
A1：含まれておりません．各自手配ください．

Q2：集合及び解散場所の駐車場　我がチームは 1 台で行く予定です．
A3：はい．可能な限りでよいので少ない台数の車でお越しください．

Q4：シュノーケルは 4 名分ですか？
A4：はい

Q5：First Aid Kit の指定はありますか？　①②装備の指定がなければチームで想定した装備を準備します.
A5：指定はありませんのでチームで判断の上，準備ください.

Q6：レース後打ち上げなどは企画されていますか？
A6：特に企画はありません.

Q7：必携以外の装備はどのように検討したらいいですか？
A7：Real Quest は Adventure Racing World Series の装備・ルール等に可能な限り準拠して世界レベルの大会へ成長してくことを目指しています．装備も ARWS を参照するといいと思います．海外レースの標準を調べることも世界への扉を開ける第一歩です．さらに言うと調査能力・装備を選ぶ判断力もフィールで遊ぶのに欠かせない一般的スキルの一つですので，チームで調べて・研究してみてください．それが楽しかったりします.
http://arworldseries.com/resources/

Q8：今回必要となるストロボライトの定義を教えてください．ハンドライト及びヘッドランプで高輝度(数百ルーメン)，防水，ストロボ発光するものはありますが，これは不可とのことなので，具体的に必要となるストロボライトを教えてほしいです.
A8：Adventure Racing World Series の装備規定に準拠とします．記載にない事項はチームで検討して考えてきてください.

Q9：地図はブリーフィングの後に受領できるのでしょうか？
A9：レースのすべての地図，CP 一覧表，指示書をブリーフィング後にお渡しします．なお，地図は 2 セット，CP 一覧表・指示書は 1 セットとなります.

Q10：主催者から渡されるのは地図と CP グリッド座標が書いた資料ですか？
A10：その通りです．地図には 1 ㎞毎に経度，緯度方向のグリッド線が引かれています．なお，UTM グリッドのルールに準じていますが，主催者で編集したものです．CP 座標は 10 m 単位で示しています.